

<JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 第 11 節試合結果>



19 – 62



平素はマツダスカイアクティブズ広島(以下、SA 広島)の活動にご理解・ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

先日行われました NTT ジャパンラグビーリーグワン 2022-23、NTT ドコモレッドハリケーンズ大阪戦 (以下、RH 大阪)の試合結果をご報告します。

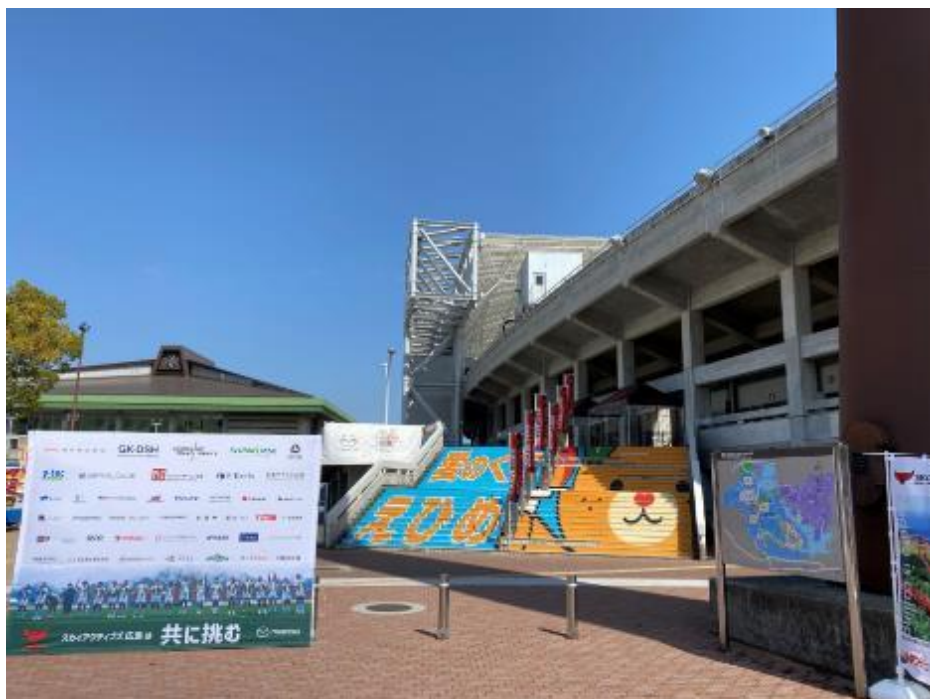
■ 試合概要

- ・開催日時 : 3月19日(日) 14:00 キックオフ
- ・開催場所 : ニンジニアスタジアム(愛媛県)
- ・試合結果 : SA 広島 19 – 62 RH 大阪

《試合詳細》 : <https://league-one.jp/news/2192>

《ハイライト動画》 : <https://league-one.jp/video/290>

数多くのラグビーの有名人(日本代表監督など)を輩出している愛媛県。その愛媛県松山市で、初めてリーグワンの公式試合をホストとして開催しました。素晴らしいラグビーができる環境に仕上げて頂いた愛媛県協会をはじめ、地域の方々のサポートのおかげで会場を作り上げることができました。



(ニンジンスタジアム正面入口)

3月3連戦の最終戦となる試合は、個のフィジカル、チームの戦い方が節を追うごとに質が上がっている RH 大阪との対戦です。対戦成績は2戦2敗と「完敗」している RH 大阪に、3度目の正直、SA 広島らしくどこまでチャレンジできるか、前節の勝利で掴んだラグビーができるか非常に楽しみな一戦となりました。

当日は試合前に SA 広島の選手(OB 含)による、小学生、中学生を対象としたラグビークリニックを開催し、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。又、キックオフ前に伊予銀行ソフトボール部様による、70m 超えのホームランパフォーマンス、ハーフタイムには愛媛大学チアリーディング部様によるパフォーマンスで会場は大いに盛り上がりを見せました。

春の暖かさを感じる中、SA 広島のキックオフで試合が始まりました。本日の試合で RH 大阪の鶴田選手が 100 キャップ(旧トップリーグとリーグワンを合わせた試合出場数)を迎え、RH 大阪フィフティーンは前半から SA 広島に襲い掛かります。前半 7 分、RH 大阪の FW がラインアウトモールから先制のトライを奪います。その後も SA 広島はその勢いを止められないまま前半 30 分まで 5 トライを奪われ 0-29 となります。このままでは終われない SA 広島は大内 錬選手(11 番：地域リレーショングループ)がキックカウンターから大きく前進します。ゴール前まで迫った SA 広島は、ラインアウトから FW が一体となりモールを形成し、最後は永田選手(2 番：商品・技術グループ)がトライラインを超えて 5-29 でハーフタイムとなります。



(キックカウンターから大きく前進する大内 錬選手)



(最後尾でボールを保持する永田選手)

SA広島は、後半から攻勢をかけるべく3名の選手、北林選手(16番：量産準備G)、デヴィン・フェリス選手(20番：人事厚生 施設グループ)、後藤選手(21番：法人・職域営業部)を投入します。

後半立ち上がりは一進一退の攻防が続きましたが、後半7分RH大阪のトライを皮切りに4連続トライを許し勝負あり。最後に2トライを返すのが精一杯で、19-62でノーサイドとなりました。



(70m独走トライを決めた中村選手)



(キャプテン崎口選手のトライ)

ラグビーは身体と身体のぶつかり合いのスポーツです。どれだけチームのために身体を張れたか、どれだけチームでチャレンジできたかが問われる一戦でした。リーグ戦も残り3試合となります。先に結果を求め過ぎず、今まで自分たちがやってきたことを信じて、しっかりやるのが大事だと思います。結果はコントロールできないからこそ、その過程や準備をしっかりと「いつもの通りの準備」を行い、BYE WEEK期間(=試合の無い週)でチームを立て直します。一人一人がこれまでの経験で得てきたラグビーを心底楽しんでこそ、SA広島のラグビーができると思っています。そして、SA広島のラグビーができていくことを信じて過ごしていきます。

次節は1勝1敗のクリタウォーターガッシュ昭島戦です。ビジターゲームとなりますが、皆さまの熱い声援が選手の背中を押し、勝利を引き寄せます。引き続きマツダスカイアクティブズ広島への応援を宜しくお願い致します。

■ゲームを振り返って

北林選手

今節、相手に先に主導権を握られる展開となり、SA 広島ラグビーができず悔しい敗戦となりましたが、得点のシーンはチームで準備してきたことが、実を結んだトライとなりました。どこまでチームのラグビーが継続できるかが、次節で重要となります。しっかり準備を行い、勝利を目指します。

亀井選手

今回の試合を通して、チーム、個人ともコンタクトエリアとメンタルの部分で、RH 大阪との差を感じました。

我々からチャレンジするラグビーが出来ず、歯痒い想いでした。

RH 大阪のように全選手が常に前をみて、状況に合わせてプレーを選択していけるチームになるよう、マインド含め次節に繋げていきたいと思います。

《カメラマン》

大竹 文隆 (カスタマーサービス本部 技術サービス部 技術情報G)

■プレー集：画像 URL

https://www.mvx753.mazda.co.jp/z89_patto_files/gKgcK8fePbv4Rfeac9q2ofN4X1WE6Bi8vDL1hm2ZmMg (フォルダの保管期限は 2023 年 4 月 5 日(日本時間)までです。)

■NEXT GAME INFORMATION (JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 第 13 節)

- ・開催日時 : 4 月 9 日(日) 13:00 キックオフ
- ・開催場所 : 荻野運動公園陸上競技場 (神奈川県)
- ・対戦相手 : クリタウォーターガッシュ昭島

※試合は、以下で放送されます。

J スポーツ オンデマンド : 2023 年 4 月 9 日 (日) 12:55~15:00 (生放送)

■クリタウォーターガッシュ昭島戦にむけての意気込み

西野選手

4 月の 3 連戦の初戦(クリタウォーターガッシュ昭島)は、チームが一つでも順位を上げるためには重要な一戦となります。

WG 昭島さんの強力なスクラムとランニングラグビーをどこまで封じ、先手先手で SA 広島ラグビーができるかが勝負の分かれ目だと思います。試合の主導権を奪われないよう、セットプレーの質に拘って準備します。

個人としては DF/AT 共に前に出続けることでチームに勢いを与え勝利に貢献します！

崎口選手

いつもスカイアクティブズ広島を応援いただきありがとうございます。

相手よりも、まずは自分たちのチームがやるべきことが出来たのか、準備は疎かにしていなかったか、自問自答しチームが浮上するために、2 週間を過ごしていきます。

ラグビーが出来る環境になっているのは、職場の方の協力や支えてくれている皆さんのおかげです。その方々のためにも、チームを鼓舞し、残り 3 試合全勝で喜びたいと思います。